



ゴール11

住み続けられる まちづくりを

世界の主な目標

- すべての人が、安全で災害に強い持続可能なまちや住宅に住めるようにします。

日本の状況

- 巨大地震の発生などが心配されているほか、豪雨による被害が国内各地で生じています。



名古屋市の取り組み例

- 南海トラフ巨大地震に備え、道路や河川、市の建築物などの施設の耐震化に取り組んでいるよ。
- 地震だけでなく、大雨に強い都市基盤の整備にも取り組んでいるよ。
- 安心・安全な住まいの確保や、公共交通を中心とした楽しく快適なまちづくりにも取り組んでいるよ。

マンガで学ぶSDGs



ゴール12

つくる責任 つかう責任

世界の主な目標

- 廃棄物を減らすため、持続可能な方法で生産し、消費する形態を確保します。
- つくる人もつかう人も、全員が意識して、自然と調和した生活を送るようにします。

日本の状況

- 家庭や店舗から出ている食品ロス^{注1}は、日本国内で年間約643万トンにのぼり^{注1}、1人1日当たりに換算すると、茶碗約1杯(約139g)のごはんの量に相当します。



名古屋市の取り組み例

- エシカル消費^{注2}を広めているよ。
- 市民や事業者と一緒に、レジ袋などの容器包装や食品ロスを削減する取り組みを進めているよ。

マンガで学ぶSDGs



注1:農林水産省「食品廃棄物等の発生量(平成28年度推計)」より。

注2:人や社会、環境に配慮したモノやサービスを選ぶこと。